

# 令和5年度 みはま支援学校の教育

～安心できるこの場所で 希望をつかもう 明るい未来へ向かって～

## 教育目標

児童生徒の心身の状態を医療機関と緊密な連携のもと、よりの確に把握し、一人一人の個性、能力特性に沿って、発達の可能性を最大限に求める教育を行い、病気や障害を改善または克服し、自信と希望を持って生き抜く人間性の育成に努める。

## めざす学校像

- ・個々の実態や特性に応じた、持てる力と社会自立に向けての力を育成する。
- ・病弱教育の専門性を高め、県・地域の特別支援教育のセンター的役割を担う。

## 令和5年度の重点目標

- (1) 病弱虚弱児・重度重複障害児のキャリア教育の推進
  - ・自己肯定感や QOL を高める教育支援の充実
  - ・県内でのセンター的役割を果たすと共に、関係病院との連携の充実を図る。
- (2) 地域における特別支援教育のセンター的役割の推進と充実を図る。
  - ・発達障害や2次障害を呈する子供への理解と支援
  - ・長期入院治療・療養を要する児童生徒への支援

## 一学部

- ア.人や物との関わりを通して、思いを伝える力を育てる。
- イ.学習の基礎となる力を育て、学びに向かう意欲を培う。
- ウ.病棟との連携を密にし、健康と体力の保持を図る

## 二学部 (小学部・中学部)

- ア.基本的生活習慣の確立を図り、基礎学力の充実と学習意欲及び体力の向上をめざす。
- イ.学習活動を通して、経験を広げ、社会性を養い、自らの課題を克服する力を養う。
- ウ.主治医、保護者、関係機関等との連携を密にした教育実践を行う。
- エ.個々の児童生徒に対し、適切な進路指導方針を立て、その達成に努める。

## 二学部 (高等部)

- ア.学力の充実を図り、学習意欲及び体力の向上をめざす。
- イ.学習活動を通して自己理解を高め、豊かな人間性を育てる。
- ウ.主治医、保護者および関係機関等との連携を密にした教育実践を行う。
- エ.個々の児童生徒に対し、適切な進路指導方針を立て、その達成に努める。

## 社会に開かれた教育課程

## 重点課題

### ①実態把握と授業づくり

- 病弱支援教育の専門性の向上
- 学部研修やケース会議等の充実
- 関係機関との連携による支援の共有

### ②キャリア教育の充実

- 生活の質の向上
- 自己理解力 自己探求力の向上
- 自立と社会参加のための支援

### ③センター的機能の推進・充実

- 病弱支援教育の発信
- 教育相談、巡回相談等の充実
- インクルーシブ教育の推進

# 安心・安全な学校づくり